特集

ものづくりの國ふくい

～全国に誇れるものづくり技術を次のステージへ～

今年、産地生誕110年を迎える眼鏡産業は、現在も眼鏡フレームの国内シェアの9割以上を誇っています。

また、約1500年もの歴史をもつ越前漆器や越前和紙、日本六古窯のひとつである越前焼などが全国に知られています。

福井の地場産業・伝統産業

福井県には、繊維、眼鏡、機械などの地場産業、越前漆器、越前和紙、若狭塗などの伝統産業があり、その高度なものづくり技術が福井県の発展を支えてきました。

繊維産業の歴史は古く、福井は奈良時代に全国有数の絹織物産地として栄え、現在も、主力のポリエステル長繊維織物では、出荷額が全国の約3割を占め、国内最大級の産地となっています。

新たな成長産業への挑戦

こうした高度なものづくり技術を先端産業に活かそうと、県では、他県に先駆けて、行政や大学が緊密に連携。中心となる企業を決めて事業化まで着実につなげる「福井方式」と呼ばれる産学官連携を推進し、医療機器や炭素繊維の開発を行ってきました。

医療現場のニーズを探る見学会を開催

昨年6月には、地域企業の実情に詳しい金融機関を新たに加えた「ふくいオープンイノベーション推進機構」を設立。より強力な連携体制を築き、新たな成長産業を創出します。

現在、県内外の200を超える企業および約700名の研究者が機構に登録されており、これまでに25の大型共同研究プロジェクトを実施しています。

宇宙産業への参入促進

機構の主要プロジェクトの一つに「県民衛星プロジェクト」があります。

国の宇宙基本計画では、今後、宇宙産業の民生分野の拡大が見込まれています。本県の産業として、超小型人工衛星の開発・生産やそのデータ利用を進める絶好の機会です。

県では昨年9月に「ふくい宇宙産業創出研究会」を設立。県内企業や大学、関係団体などの共同による超小型衛星技術開発などを支援していきます。

超小型人工衛星　提供:㈱アクセルスペース

炭素繊維の新たな展開

炭素繊維複合材料の活用については、航空機や自動車分野に加え、新たに土木・建築分野への応用展開を図っています。

炭素繊維の軽い・強い・錆びないという特性を活かし、橋梁の長寿命化や維持管理費の低減につなげる福井発の補強部材や施工技術を開発しています。

橋梁の補強部材の試験施工・実証試験を実施

ものづくりの拠点が丹南に

丹南地域には、伝統工芸や眼鏡などものづくり企業が集積しています。そこで、その中心に位置するサンドーム福井に、ものづくり産業の振興や人材育成の機能を持つ「ものづくりキャンパス」を整備。

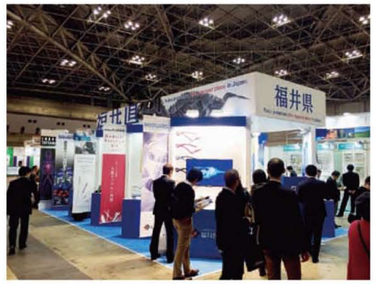
企業の商品開発、デザインの指導等を行うデザインセンターを県工業技術センターから移転し、3Dプリンターなどを活用して試作品等を開発できる研究室を新たに設置します。

さらに、伝統工芸職人の研修をはじめ、県産品の展示・販売などを行うスペースも確保するなど、今年11月のリニューアルオープンに向けて準備を進めます。

福井の技術をアピール

県では、県内企業の技術を大手メーカーに売り込むため、様々な展示会・商談会に参加しています。

昨年11月には、今後の成長産業として期待されている医療分野の国内最大級の展示会「HOSPEX」に福井県ブースを出展。



医療機器・福祉機器に関する展示会「HOSPEX」に出展

また、今年11月には「伝統的工芸品月間国民会議全国大会」が21年ぶりに福井県で開催され、全国から伝統工芸の関係者が一堂に集まります。

会場となるサンドーム福井では、国指定の伝統的工芸品や県指定の郷土工芸品の展示・販売のほか、伝統工芸士による製作実演、若手職人の作品展などを予定。この機会を活用し、本県の伝統工芸の魅力を大いにアピールしていきます。

ふるさと企業を表彰

県内の中小企業は、地域経済に貢献しながらも、県民からあまり認識されていないのが実情です。

そこで、県内企業の活動の見える化を進めるため、キラリと光る優れた活動を行っている企業を表彰しています。

2月7日の「ふるさとの日」には6社を表彰。県の広報番組やホームページ等で受賞者の広報を行いました。

今後も、県内で頑張っている企業をより多く紹介していきます。本県の地場産業・伝統産業の今後の活躍に、皆さんも注目してみてください。

最優秀賞を受賞した
㈲龍泉刃物の製品

海外でも積極的に販路を開拓

㊶産業政策課
☎0776-20-0367
㊶地域産業・技術振興課
☎0776-20-0377

知事コラム

福井県知事
西川 一誠

「県民衛星プロジェクト」は、オープンイノベーション推進機構の主要プロジェクトの一つです。宇宙産業の市場は拡大しており、県内企業にとっても、先進的なビジネス展開が期待できる有望な分野になっています。

平成31年度の打上げに向け、県は、衛星を組み立てるクリーンブースを県工業技術センター内に設置するほか、衛星製造のノウハウ習得や、衛星データの利活用システムの開発などを応援します。ぜひ、3年後に、福井の素晴らしい技術が詰まった人工衛星が地球を回る日を楽しみにしてください。